

日本フィルハーモニー交響楽団

第698回 東京定期演奏会

JAPAN PHILHARMONIC
ORCHESTRA

2018 3.2 (金) 18:20 開場 / 19:00 開演 / 3 (土) 13:30 開場 / 14:00 開演 サントリーホール

プレトーク
「本日の聴きどころ」
13:00 開場
13:10～

壮絶なる 時空を超えた物語

指揮：下野 竜也

Conductor: SHIMONO Tatsuya

©山口敦

チェロ：

ルイジ・ピオヴァノ*

Cello: Luigi PIOVANO

スッペ：喜歌劇《詩人と農夫》序曲

Franz von SUPPÉ: "Dichter und Bauer" Overture

尹 伊桑(ユン・イサン)：チェロ協奏曲*

YUN Isang: Concerto for Violoncello and Orchestra

マクミラン：イゾベル・ゴードィの告白

James MACMILLAN: The Confession of Isobel Gowdie

ブルックナー(スクロヴァチェフスキ編曲)：

弦楽五重奏曲 へ長調 WAB112より「アダージョ」

Anton BRUCKNER (Arr. by Stanisław SKROWACZEWSKI): "Adagio"
from String Quintet in F-major, WAB112



©Laurence Heym

■ 料金 (消費税込み)

2017年12月14日(木)発売

■ お申込み・お問い合わせ / 日本フィル・サービスセンター

S ¥8,000 A ¥6,500 B ¥6,000
C 完 売 P ¥4,000 Ys(25歳以下) ¥1,500

※Ys席は日本フィルでのみ扱います。S席以外から選べます。※未就学児の入場はご遠慮ください。※出演者、曲目等は変更される場合がございます。あらかじめご了承ください。※車いすの方、障害者手帳をお持ちの方は割引がございますので、サービスセンターまでお問い合わせください。※車いすでご来場予定のお客様は、当日のスムーズなご案内のため、チケットご購入後、ご購入席番を日本フィル・サービスセンターへご連絡ください。

[TEL] 03-5378-5911 (平日10:00～17:00) [FAX] 03-5378-6161 (24時間)
日本フィルeチケット♪ www.japanphil.or.jp (席を選んでお申込みできます)

▶ チケットぴあ ... (0570) 02-9999 <http://pia.jp/t/japanphil> Pコード/331588
▶ e+【イープラス】 ... <http://eplus.jp>
▶ ローソンチケット ... (0570) 000-407 (オペレーター) <http://l-tike.com> Lコード/33935
▶ サントリーホールチケットセンター ... 0570-55-0017

託児サービス
(事前申込制・有料)

イベント託児®
マザーズ
TEL0120-788-222
(平日10:00～17:00)

音楽の未知なる可能性を求める下野竜也が繰り出す、 壮絶なる時空を超えた物語

日本フィルはラザレフとのロシア、インキネンとのシベリウスおよびドイツ音楽といった取り組みの一方で、邦人作品の演奏にも積極的に取り組んでいます。「日本フィル・シリーズ」の再演や初演、2016年度の芸術祭大賞に輝いた柴田南雄作品特集公演等が近年の好例と言えるでしょう。いずれも日本のオーケストラならではの共感に溢れた演奏で、高い評価を受けております。

今後は日本のみならずアジア地域にも視点を広げ、優れたオーケストラ作品の紹介に努めたいと考えます。その意味では今回のユンのチェロ協奏曲はまさに先駆けだと言えるでしょう。当公演では壮絶なドラマと祈り・浄化がテーマ。チェロの活躍が目立つ楽しい《詩人と農夫》からはじまり、同じチェロが悶え苦しむユンの協奏曲へ。後半もマクミランによる黙示録的な重さと暗さを伴った作品で始まり、最後はブルックナーによる崇高な世界への昇華となる一連の流れ。まさに下野竜也面目躍如といった趣の練り上げられたプログラミングです。単なる現代音楽の紹介ではなく、物語性のある文脈に連ねることで、ある種の一般的な意味での「わかりやすさ」を演出したいと考えています。

これまでも下野とは「日本フィル・シリーズ」のみで構成された定期演奏会を2回設けるなど、我々の指揮者陣とは全く異なったスタイルを貫いてきました。今回も彼にしか考えることのできない、時代(ロマン派から現代)や地域(アジアと西欧)を飛び越えた大変ユニークかつ含蓄に満ちた構成となっています。

JAPAN
PHILHARMONIC
ORCHESTRA
698th
SUBSCRIPTION
CONCERTS

東京定期土曜限定プレトーク 「本日の聴きどころ」

毎回、これから始まるコンサートの聴きどころや楽曲解説、アーティストの素顔等をご紹介します。

13:00 プレトーク開場

13:10 プレトーク開始 / 齋藤弘美氏
(1階席1列～14列でお聞きください)

13:25 プレトーク終了

13:30 一般開場

14:00 開演

下野 竜也

指揮

SHIMONO Tatsuya

1969年鹿児島生まれ。2000年東京国際音楽コンクール<指揮>優勝と齋藤秀雄賞受賞、2001年ブザンソン国際指揮者コンクールの優勝で一躍脚光を浴びる。国内の主要オーケストラに定期的に招かれる一方、サンタ・チェチーリア国立アカデミー管、チェコ・フィル、シュツットガルト放送響、ロワール管、南西ドイツフィル、シリコンバレー響をはじめとした国際舞台での活躍が目覚ましい。

2006年に読売日本交響楽団初代正指揮者、2013年4月から2017年3月まで同団の首席客演指揮者を務める。その間、2011年には広島ウインドオーケストラ音楽監督、2014年には京都市交響楽団常任客演指揮者に就任。更に2017年4月からは同団常任首席客演指揮者、広島交響楽団音楽総監督に就任。京都市立芸術大学音楽学部指揮専攻教授。2002年出光音楽賞、渡邊暁雄音楽基金音楽賞、2006年第17回新日鉄音楽賞・フレッシュアーティスト賞、2007年第6回齋藤秀雄メモリアル基金賞、平成24年度(第63回)芸術選奨文部科学大臣賞、平成25年度第46回MBC賞、2014年度第44回東燃ゼネラル音楽賞奨励賞、2016年南日本文化賞・特別賞などを受賞。
鹿児島市ふるさと大使。おじゃんせ霧島大使。

公式ホームページ <http://www.tatsuyashimono.com/>



©Naoya Yamaguchi

ルイジ・ピオヴァノ

チェロ

Luigi PIOVANO

イタリア・ペスカーラ生まれ。1989年、メニューイン国際音楽アカデミーに入学。メニューインの指揮で世界各地のコンサートに出演。その後、パリのヨーロッパ音楽院で、チェロと室内楽で学位を取得。トラパーニ、イルザッッシュなどの国際コンクールで入賞。1999年、ポリニ・プロジェクトで、ザルツブルク音楽祭にデビューを飾る。2001年ニューヨークのカーネギーホール、2002年東京、2003年ローマでも同プロジェクトにて演奏。アメリカのニューポート音楽祭からは2000年以後、定期的に招かれている。

室内楽奏者として、サヴァリッシュ、パッパノ、ミョンフン、ラベック姉妹、シトコベツキ、カヴァコス、ルガンスキーらと共演しているほか、ソリストとしても、サヴァリッシュ、パッパノ、ミョンフン、ケント・ナガノ、下野竜也、バヤーレ、デスピノーサといった指揮者達と共演を重ねている。フレンターノ夏の音楽祭芸術監督。近年指揮者としての活動も活発で、マーニャ・グレーチャICO管弦楽団、ローマ・トレ・オーケストラの音楽監督、サンタ・チェチーリア弦楽オーケストラの首席指揮者を務めている。ローマ・サンタ・チェチーリア国立アカデミー管弦楽団首席ソリスト。使用楽器は1710年頃作製されたアレッサンドロ・ガリアーノ。



©Naoya Yamaguchi

次回

第699回東京定期演奏会

2018 4.27(金) 18:20 開場 / 19:00 開演 28(土) 13:30 開場 / 14:00 開演 サントリーホール

■プログラム

ワーグナー：歌劇《タンホイザー》序曲

ワーグナー：楽劇《ローエングリン》より第1幕、第3幕への前奏曲

ワーグナー(マゼール編)：言葉のない《指環》

■料金(消費税込み) 2017年12月14日(木)発売

S ¥8,000 A ¥6,500 B ¥6,000 C 完売 P ¥4,000 YS(25歳以下) ¥1,500



©堀田 力也

指揮：ピエタリ・インキネン
[首席指揮者]